

平成 28 年度 NEDO 新エネルギー成果報告会
地熱分野 再生可能エネルギー熱利用分野 委託事業者への連絡事項

●開催日時、場所

- ・平成 28 年 10 月 28 日（金）
- ・パシフィコ横浜 パシフィコ横浜 アネックスホール（最終頁案内図参照）
<http://www.pacifico.co.jp/visitor/access/tabid/236/Default.aspx>
- ・アネックスホールの開場時間：9 時
- ・アネックスホール内会場 時間 分野
F201・F202 9 時 30 分～12 時 00 分 地熱分野
F201・F202 13 時 05 分～17 時 10 分 再生可能エネルギー熱利用分野
F205・F206 9 時 30 分～17 時 50 分 ポスター展示
(F203・F204 9 時 30 分～17 時 00 分 バイオマス分野)
- ・開会挨拶：9 時 30 分～（NEDO 新エネルギー部 部長予定）

●アネックスホール会場受付

- ・受付は、発表者受付と一般受付に分かれている。
- ・発表者は、発表者受付で係に発表番号、所属、氏名を伝え、名札を受け取る。
混雑状況によっては、リスト確認をせずに、名刺のみを受け取って頂く可能性がある。

●ポスター発表に関し

- ・ポスターの掲示場所は、後段頁のポスターNo と会場レイアウトに従って下さい。
- ・印刷は各事業者で行い、原則、当日持参、掲示して頂く。
- ・原則、開場後 9:00-9:30 に貼り付けして（地熱分野、熱利用分野とも）
全時間帯（9 時 30 分～17 時 50 分）で掲示して頂く。
朝に間に合わなければ、12 時までにポスターを張り付けて頂く。
- ・ポスター時間は、説明者が必ず付いて頂く
（地熱分野：12:00-13:05、熱利用分野：17:10-17:50）。
- ・ポスターの回収は、原則、事業者をお願いする。
都合がつかない場合は、NEDO テーマ担当者に回収を依頼して頂く。

■口頭発表と予鈴について

- ・会場前方右側に発表者席を用意する。
- ・地熱分野 6 テーマ：9:20 には発表者席について頂く。
- ・熱利用分野 14 テーマ：
 - 午後一の 7 件は、12:55 には発表者席について頂く。
 - 残りの 7 件は、15:15 には発表者席について頂く。
- ・登壇と発表開始
 - 前の発表者の終了後、直ちに交代して頂く。
 - 各発表資料は、STAFF（運営代行業者）が起動する。
 - 交代およびセッションの開始と同時に、司会者が発表者の紹介を行う。
 - 紹介が終わり次第、続けて発表を開始して頂く。
- ・予鈴：発表開始から時間計測開始
 - 地熱分野発表（発表 15 分、質疑 4 分、交代 1 分）
 - 1 鈴：11 分、2 鈴：13 分、3 鈴：15 分(プレゼン終了)、4 鈴：19 分(質疑終了)
 - 熱利用分野発表（発表のみ 14 分、交代 1 分）
 - 1 鈴：10 分、2 鈴：12 分、3 鈴：14 分(プレゼン終了)
 - プレゼンが続いている場合、司会判断で終了させますので、時間厳守願います。

■その他

- ・ドレスコード
 - 発表者はジャケット着用、ネクタイ不要

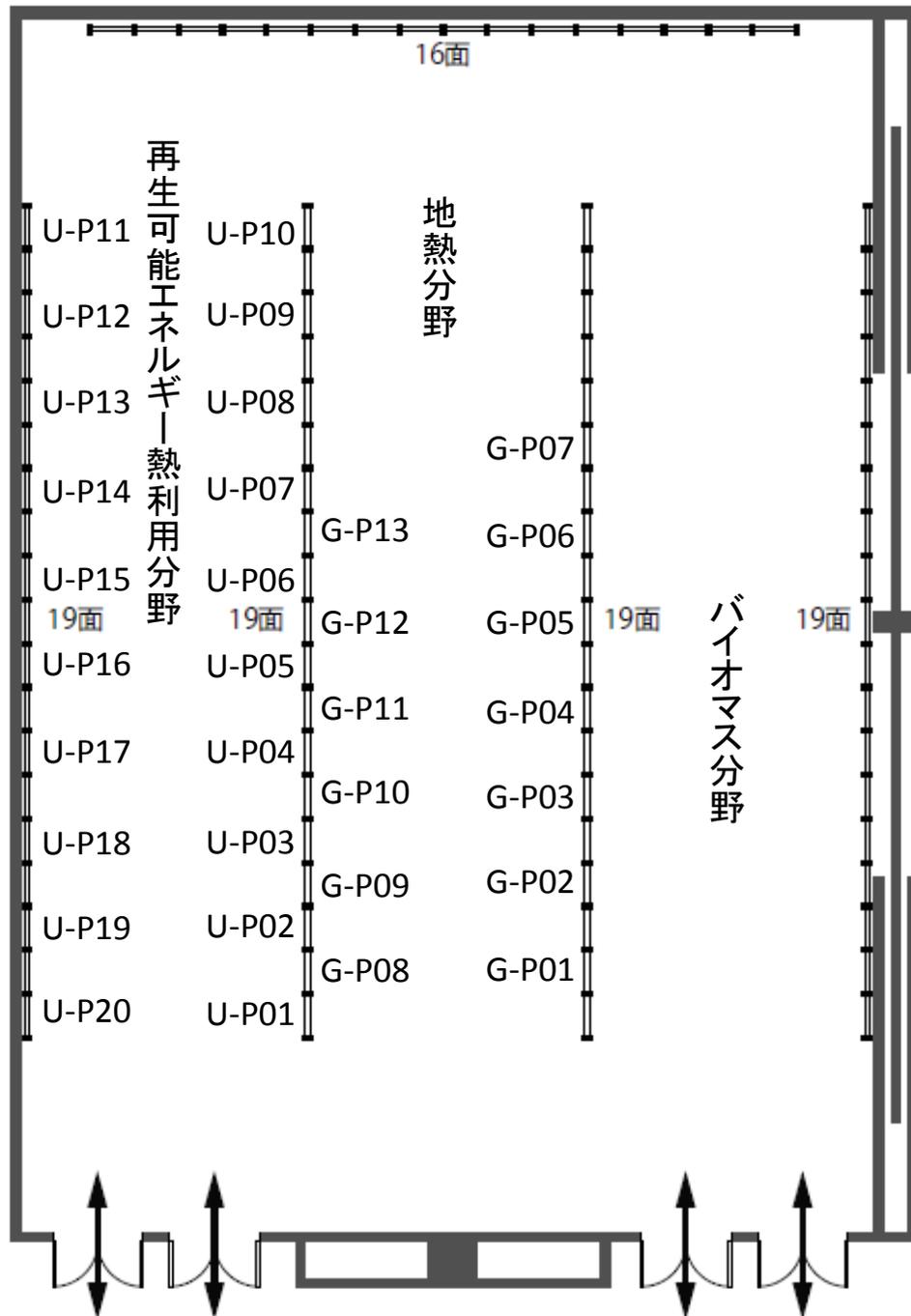
以上

プロジェクト	研究開発項目	テーマ	機関	予稿集番号	時間
午前部					
開会挨拶			NEDO 新エネルギー部		9:30 ~ 9:35
NEDO事業紹介（地熱分野）			NEDO 新エネルギー部 熱利用グループ		9:35 ~ 10:00
地熱発電技術研究開発	低温域の地熱資源有効活用のための小型バイナリー発電システムの開発 発電所の環境保全対策技術開発	温泉の蒸気と温水を有効活用し、腐食・スケール対策を施したハイブリッド型小規模発電システムの開発	アドバンス理工(株)、(株)馬淵工業所	G-01	10:00 ~ 10:20
		硫化水素拡散予測シミュレーションモデルの研究開発	日揮(株)、(学)明星大学	G-02	10:20 ~ 10:40
		無給油型スクロール膨張機を用いた高効率小型バイナリー発電システムの実用化	アネスト岩田(株)	G-03	10:40 ~ 11:00
		炭酸カルシウムスケール付着を抑制する鋼の表面改質技術の開発	(国)東京海洋大学、(国)横浜国立大学、(国)長崎大学、(株)エディット	G-04	11:00 ~ 11:20
		地熱発電所に係る環境アセスメントのための硫化水素拡散予測数値モデルの開発	(一財)電力中央研究所	G-05	11:20 ~ 11:40
		地熱発電の導入拡大に資する革新的技術開発	低温域の地熱資源有効活用のためのスケール除去技術の開発	(国)大阪大学、(国研)産業技術総合研究所	G-06
ポスター発表（地熱分野）、休憩					12:00 ~ 13:05
午後部					
NEDO事業紹介（熱利用分野）			NEDO 新エネルギー部 熱利用グループ		13:05 ~ 13:30
再生可能エネルギー熱利用技術開発	地中熱利用トータルシステムの高効率化技術開発及び規格化	再生可能エネルギー利用のための水循環・分散型ヒートポンプシステムの開発	(国)東京大学、鹿島建設(株)、ゼネラルヒートポンプ工業(株)	U-01	13:30 ~ 13:45
		地下水循環型地中採熱システムの研究開発	(株)守谷商会	U-02	13:45 ~ 14:00
		共生の大地への地中蓄熱技術の開発	(国)福井大学、(株)三谷セキサン	U-03	14:00 ~ 14:15
		地中熱・流水熱利用型クローズドシステムの技術開発	ジオシステム(株)、(国研)農研機構農村工学研究所、(国)東北大学、八千代エンジニアリング(株)	U-04	14:15 ~ 14:30
		低コスト・高効率を実現する間接型地中熱ヒートポンプシステムの開発と地理地盤情報を利用した設計・性能予測シミュレーションツール・ポテンシャル評価	(国)北海道大学、(株)日伸テクノ、鉱研工業(株)、(株)イノアック住環境、サンポット(株)、新日鉄住金エンジニアリング(株)、ジーエムラボ(株)	U-05	14:30 ~ 14:45
		地下水を利活用した高効率地中熱利用システムの開発とその普及を目的としたポテンシャルマップの高度化	日本地下水開発(株)、(国)秋田大学、(国研)産業技術総合研究所	U-06	14:45 ~ 15:00
		一般住宅向け浅部地中熱利用システムの低価格化・高効率化の研究	(学)日本大学、(有)住環境設計室、日商テクノ(株)	U-07	15:00 ~ 15:15
小休憩					15:15 ~ 15:25
再生可能エネルギー熱利用技術開発	コストダウンを目的とした地中熱利用技術の開発	高性能ボーリングマシンの低騒音化・自動化に向けた研究開発	(株)東亜利根ボーリング	U-08	15:25 ~ 15:40
		戸建住宅及び小規模～中規模建築物を対象とした地中熱配管埋設工法の研究開発	旭化成建材(株)	U-09	15:40 ~ 15:55
		地中熱利用要素技術の開発	(株)ワイビーエム、(国)佐賀大学	U-10	15:55 ~ 16:10
	再生可能エネルギー熱利用のポテンシャル評価技術の開発	地圏流体モデリング技術による国土地中熱ポテンシャルデータベースの研究開発	応用地質(株)、(株)地圏環境テクノロジー	U-11	16:10 ~ 16:25
	その他再生可能エネルギー熱利用トータルシステムの高効率化・規格化	温泉熱地域利用のためのハイブリッド熱源水ネットワーク構築技術の研究開発	(株)総合設備コンサルタント、(公)大阪市立大学	U-12	16:25 ~ 16:40
	都市除排雪を利用した雪山貯蔵による高効率熱供給システムの研究開発	(株)雪屋堀山商店、(株)共同通信デジタル、NHNテコラス(株)、(株)環境技術センター、(株)ズコーシャ、(国)室蘭工業大学	U-13	16:40 ~ 16:55	
	その他再生可能エネルギー熱利用システム導入拡大に資する革新的技術開発	食品廃棄物の超臨界水ガス化による再生可能熱の創生	(国)広島大学、(株)東洋高圧、中国電力(株)	U-14	16:55 ~ 17:10
ポスター発表（熱利用分野）					17:10 ~ 17:50

【地熱・熱利用分野】ポスター

地熱発電技術研究開発	発電所の環境保全対策技術開発	エコロジカル・ランドスケープデザイン手法を活用した設計支援ツールの開発	清水建設(株)、(株)風景デザイン研究所、(学)法政大学	G-P01
		温泉と共生した地熱発電のための簡易遠隔温泉モニタリング装置の研究開発	(国研)産業技術総合研究所、地熱エンジニアリング(株)、横河電機株式会社	G-P02
		シード循環法によるシリカスケール防止技術の研究開発	(国)富山大学、(国)九州大学、三菱マテリアルテクノ(株)	G-P03
	低温域の地熱資源有効活用のための小型バイナリー発電システムの開発	スケール対策を施した高効率温泉熱バイナリー発電システムの研究開発	京葉プラントエンジニアリング(株)	G-P04
		水を作動媒体とする小型バイナリー発電の研究開発	(一財)エネルギー総合工学研究所、(株)アーカイブワークス、(国)東京大学	G-P05
		環境負荷と伝熱特性を考慮したバイナリー発電用高性能沸点流体の開発	(国)東京大学、旭硝子(株)	G-P06
	地熱発電の導入拡大に資する革新的技術開発	温泉熱利用発電のためのスケール対策物理処理技術の研究開発	(国)東北大学、東北特殊鋼(株)、(株)テクノラボ	G-P07
		電気分解を応用した地熱発電用スケール除去装置の研究開発	イノベティブ・デザイン&テクノロジー(株)、(国)静岡大学	G-P08
		バイナリー式温泉発電所を対象としたメカニカルデスケールリング法の研究開発	(国)秋田大学、(株)管通、(国)東北大学、(国)東京海洋大学	G-P09
		地熱発電適用地域拡大のためのハイブリッド熱源高効率発電技術の開発	(一財)電力中央研究所、(国)富山大学	G-P10
		地熱発電プラントのリスク評価・対策手法の研究開発(スケール/腐食等予測・対策管理)	地熱技術開発(株)、(国研)産業技術総合研究所、エヌケーケーシームレス鋼管(株)	G-P11
		事業採算性と環境保全を考慮したバイナリー発電システムに供するタービン発電機の開発設計	丸和電機(株)	G-P12
		還元熱水の高度利用化に向けた技術開発(熱水中のスケール誘因物質の高機能材料化による還元井の延命・バイナリー発電の事業リスク低減)	地熱技術開発(株)、(公)北九州大学、日揮(株)	G-P13
再生可能エネルギー熱利用技術開発	コストダウンを目的とした地中熱利用技術の開発	高性能ボアリングマシンの低騒音化・自動化に向けた研究開発	(株)東亜利根ボアリング	U-P01
		戸建住宅及び小規模～中規模建築物を対象とした地中熱配管埋設工法の研究開発	旭化成建材(株)	U-P02
		地中熱利用要素技術の開発	(株)ワイビーエム、(国)佐賀大学	U-P03
	地中熱利用トータルシステムの高効率化技術開発及び規格化	地下水循環型地中採熱システムの研究開発	(株)守谷商会	U-P04
		共生の大地への地中蓄熱技術の開発	(国)福井大学、(株)三谷セキサン	U-P05
		再生可能熱エネルギー利用のための水循環・分散型ヒートポンプシステムの開発	鹿島建設(株)、(国)東京大学、ゼネラルヒートポンプ工業(株)	U-P06
		地中熱・流水熱利用型クローズドシステムの技術開発	ジオシステム(株)、(国研)農研機構農村工学研究所、(国)東北大学、八千代エンジニアリング(株)	U-P07
		地中熱利用システムを含む空調熱源トータルシステムシミュレーションの開発	(株)日建設計総合研究所、(公)名古屋市立大学	U-P08
		都市インフラ活用型地中熱利用システムの開発	三菱マテリアルテクノ(株)、(国)秋田大学、日本ビーマック(株)	U-P09
		低コスト・高効率を実現する間接型地中熱ヒートポンプシステムの開発と地理地盤情報を利用した設計・性能予測シミュレーションツール・ポテンシャル評価システムの開発	(国)北海道大学、(株)日伸テクノ、鉱研工業(株)、(株)イノアック住環境、サンポット(株)、新日鉄住金エンジニアリング(株)、ジエムラボ(株)	U-P10
	地下水を活用した高効率地中熱利用システムの開発とその普及を目的としたポテンシャルマップの高度化	日本地下水開発(株)、(国)秋田大学、(国研)産業技術総合研究所	U-P11	
	一般住宅向け浅部地中熱利用システムの低価格化・高効率化の研究	(学)日本大学、(有)住環境設計室、日商テクノ(株)	U-P12	
再生可能エネルギー熱利用のポテンシャル評価技術の開発	地圏流体モデリング技術による国土地中熱ポテンシャルデータベースの研究開発	応用地質(株)、(株)地圏環境テクノロジー	U-P13	
	オープンループ型地中熱利用システムの高効率化とポテンシャル評価手法の研究開発	(国)岐阜大学、東邦地水(株)、(株)テイコク	U-P14	
	都市域における、オープンループシステムによる地下水の大規模熱源利用のための技術開発	(一財)地域地盤環境研究所、(株)環境総合テクノス、(国)岡山大学	U-P15	
その他再生可能エネルギー熱利用トータルシステムの高効率化・規格化	温泉熱地域利用のためのハイブリッド熱源ネットワーク構築技術の研究開発	(株)総合設備コンサルタント、(公)大阪市立大学	U-P16	
	都市除排雪を利用した雪山貯蔵による高効率熱供給システムの研究開発	(株)雪屋媚山商店、(株)共同通信デジタル、NHNテコラス(株)、(株)環境技術センター、(株)ズコーシャ、(国)室蘭工業大学	U-P17	
	太陽熱を利用した熱音響冷凍機による雪室冷却装置の開発	新潟県工業技術総合研究所、(学)東海大学、新潟機器(株)	U-P18	
	太陽熱集熱システム最適化手法の研究開発	(一社)ソーラーシステム振興協会、名城大学、(国研)建築研究所	U-P19	
その他再生可能エネルギー熱利用システム導入拡大に資する革新的技術開発	食品廃棄物の超臨界水ガス化による再生可能熱の創生	(国)広島大学、(株)東洋高圧、中国電力(株)	U-P20	

ポスターセッション会場図



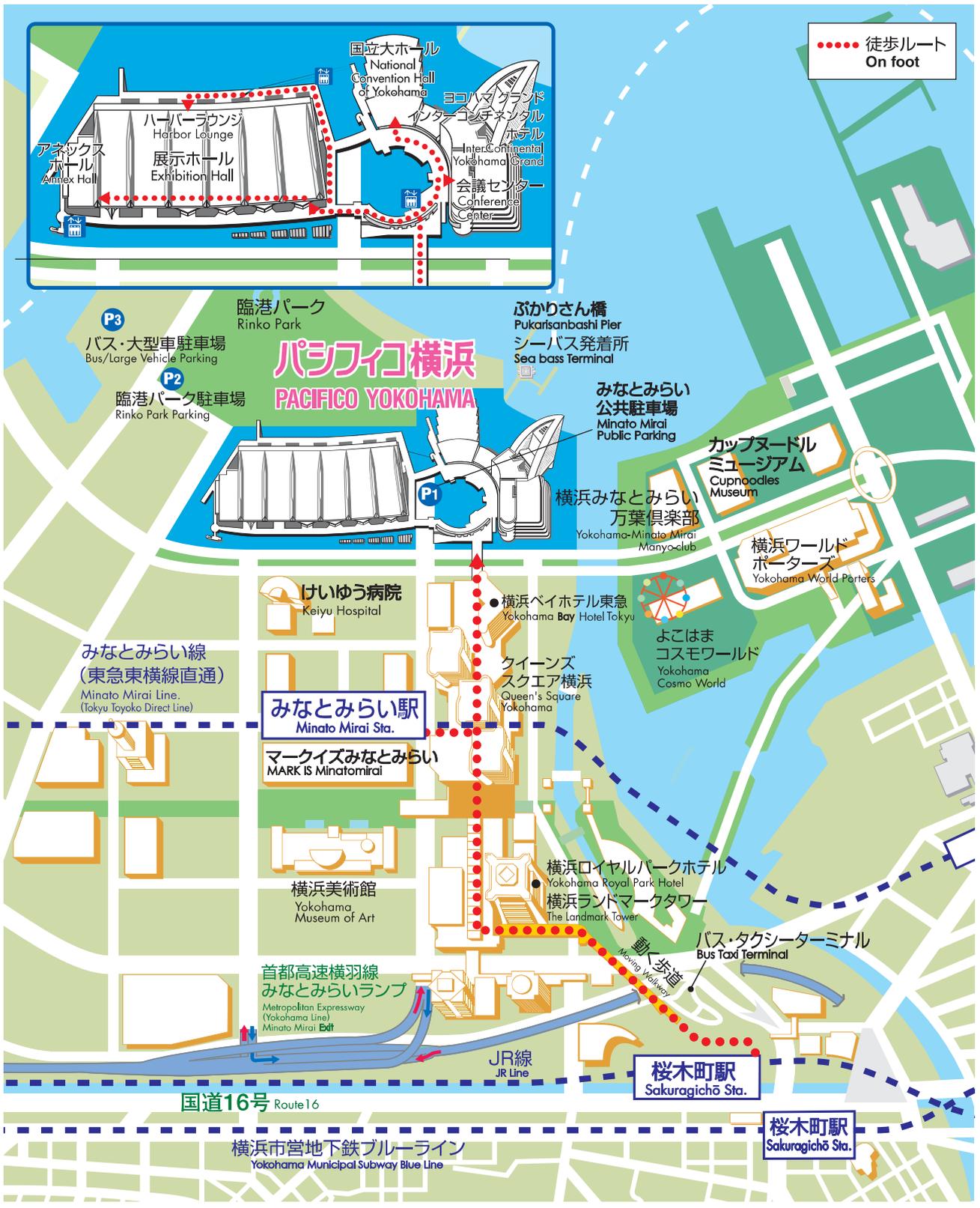


パシフィコ横浜 周辺マップ PACIFICO YOKOHAMA MAP

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1
 総合案内 ☎045-221-2155 交通案内 ☎045-221-2166
 1-1-1 Minatomirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan
 Information ☎+81(45)221-2155

パシフィコ横浜 🔍

PACIFICO YOKOHAMA 🔍



● 交通のご案内 How to get to PACIFICO Yokohama

飛行機で By Air	羽田空港 Haneda Airport	パシフィコ横浜直通リムジンバス Airport Limousine Bus (Direct to PACIFICO YOKOHAMA)	35分 35min.					
	成田空港 Narita Airport	リムジンバス Airport Limousine Bus	30分 30min.					
		京浜急行 Keikyu Line : Limited Express	24分 24min.	タクシー by Taxi	7分 7min.			
		リムジンバス Airport Limousine Bus (パシフィコ横浜行きは120分) (120min. to PACIFICO YOKOHAMA)	90分 90min.					
電車・新幹線で By Train	渋谷駅 Shibuya Sta.	東急東横線:特急→みなとみらい線 (東急東横線・みなとみらい線 直通運転) Tokyu Toyoko Line : Limited Express (Direct link to Minato Mirai Line)	30分 30min.	みなとみらい線 Minato Mirai Line	3分 3min.	徒歩 on foot	3分 3min.	
		JR東海道線 JR Tokaido Line	25分 25min.	みなとみらい線 Minato Mirai Line	3分 3min.			
	東京駅 Tokyo Sta.	JR横浜線 JR Yokohama Line	3分 3min.	東急東横線 Tokyu Toyoko Line	10分 10min.			
		新横浜駅 Shin Yokohama Sta.	JR横浜線 JR Yokohama Line	13分 13min.	JR京浜東北線 JR Keihin-Tohoku Line	3分 3min.	徒歩 on foot	12分 12min.
	新横浜駅 Shin Yokohama Sta.	横浜市営地下鉄ブルーライン Yokohama Municipal Subway Blue Line	15分 15min.	桜木町駅 Sakuragicho Sta.	バス by Bus	7分 7min.	タクシー by Taxi	5分 5min.
	首都高速 Metropolitan Expressway	横羽線 横浜公園方面 Toward Yokohama Park, Kanagawa Route K-1			横羽線 みなとみらい ランプ Minato Mirai Exit			3分 3min.
		湾岸線 (ベイブリッジ経由) 横浜方面 Toward Yokohama (via Bay Bridge), Bay Shore Route B ▶ K-1						
	東名高速 Tomei Expressway Yokohama Machida IC	保土ヶ谷バイパス 約15分 ▶ 狩場IC ▶ 高速神奈川3号 狩場線横浜方面 約10分 Hodogaya Bypass 15min. ▶ Kariba IC ▶ Toward Yokohama K-1 Metropolitan Expressway 10min.						

[東京方面より] [From Tokyo]

[関西・中部方面より] [From Kansai or Chubu]